

AED

自動体外式除細動器

Cardiolife AED-2100

シノハラ防災(株)からAEDレンタルプランのご紹介

■国内病院外の心臓突然死は年間およそ6万人

①心臓突然死とは・・・

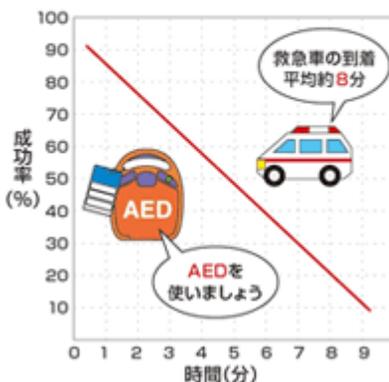
いつでも誰にでも起きる可能性のある心臓突然死。その原因のほとんどが「心室細動」です。

②救命は早期の除細動が鍵

「心室細動」を起こすと、救命率が1分ごとに7～10%低下していきます。



成功の可能性が1分ごとに7～10%低下



③AED使用の実際

総務省の発表によると、2009年度心肺停止による救急搬送件数は21,112件あり、AEDも応急手当も行われなかったケースは10,278件、1ヶ月後生存率は9.0%、社会復帰率は4.9%であった。

AED使用事例は583件あり、1ヶ月後生存率44.3%、社会復帰率35.8%と高い効果を実証しています。

④だからAEDが必要

「心室細動」は時間との勝負であり、倒れてから1分以内にAEDを使用すれば、8割がたの方が蘇生できると言われております。救急車任せでは殆どの方が手遅れになってしまいますのでいざという時の備えにAEDが必要です。



AEDで電気ショック

※傷病者から離れましょう



救命の連鎖をつなげよう

販売名:自動体外式除細動器 AED-2100 カルジオライフ 医療機器承認番号 22100BZX00362000 クラス分類:高度管理医療機器、特定保守管理医療機器
・ 添付文章をお読みください。・ 電極パッドは使い捨てです。再使用できません。・ 1歳以上8歳未満の小児には、小児用パッドを使用してください。小児用パッドが近くにないなど止むを得ない場合には、2枚のパッドが触れ合うことがないように注意してください。・ 1歳未満の小児には使用しないでください。・ AEDに不測の事態が発生した時及び稼働時(高度管理医療機器等販売業の許可業者に限る)、廃棄時には、日本光電またはAEDを購入された販売店にご連絡ください。



NIHON KOHDEN

